

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成22年8月20日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	行政改革について財源に不安がある。秦野の財産である天然水や景観を活かした財源確保の計画は無いのか。	豊富な水など秦野の持つ貴重な資源を再確認し、有効に活用できるようにしたい。環境省や農水省も興味を持ち、大学も調査をしている。氷を作って売る、というアイデアもよいかもかもしれない。	<p>資源を活かした新たな財源づくりという考えは持っており、新行財政改革プランの施策の中で検討中です。</p> <hr/> <p>懇談会における回答と同じ</p>	<p>行政経営課</p> <hr/> <p>財政課</p>
2	震生湖の西側に家が一戸建っている。倉庫ではなく人が住んでいるようだが違法ではないのか。	10年ほど前からだと思うが、経過を含め早急に調査する。	当初は倉庫として建築され、その後用途変更によって住居となっています。必要な手続きを経ているため、法令上の違法性はありません。	農業委員会
3	各自治会の定年後の元気なシルバー世代を活かし、市が委託している業務をもっと安い料金で任せるようなことはできないか。	市内に多くのボランティア団体があるが、これらにシルバー世代が参加できるようアピールしたい。これまであまり無かった自治会とボランティア団体の連携も高めていき、相乗効果を狙いたい。	<p>ご意見のとおり、団塊世代の企業リタイヤの人数が増加していくなか、この方たちに、地域に目を向けてもらい、地域社会において、様々な知識や経験を活かして活躍していただくことは必要と考えています。</p> <p>そのため市内で活動しているボランティア団体や、市民活動団体について、広く市民に紹介できるようにしていくよう努めていきます。</p>	市民自治振興課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成22年8月20日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
4	公園愛護会への補助金はもったいないのではないか。	公園愛護会には補助金を出していますが、現在、補助金という形ではなく、花の種であったり、道具の貸し出し等の形で支援をする公園里親制度がある。こちらへ移行して頂けるようお願いしたい。	<p>地域の小規模な公園(街区公園)の維持管理については、地域の方々と市とともに行うことを基本に、継続的に園内の清掃、除草等の日常管理を行っていただける団体を「公園愛護会」と称し、日常管理に要する道具・ゴミ袋などの消耗品を購入するための費用の一部を補助しております。</p> <p>また、平成15年度から、公園等の公共施設の美化清掃管理を自発的に進んで行う「公園里親制度(アダプトプログラム)」をスタートしました。この制度は市民団体へ市からの補助金はありません。市から市民団体への主なサポートは美化活動に必要な物品の支給及び貸与、ボランティア活動保険及び活動表示板の設置をしております。</p> <p>市としては、地域の小規模な公園については「公園愛護会」から「公園里親制度」へ地域の皆様と合意の基に移行をお願いしたいと考えておりますが、「公園愛護会」制度を継続したいという団体の意見もあります。</p>	道路公園維持課
5	道路整備について、計画を一元化できないか。当初6メートルという計画があったはずが、建築基準法の4メートルで許可を出したりしている。(例えば国道246のゲームセンターから運動公園へ抜ける道、ハギハラストアがあったところ)非常に狭くなるところがあり、すれ違いできない。	後日回答します。	ご質問のように、市道改良(線的整備)と開発行為や、建築行為による整備(一部整備)には後退幅等で確かに違いがあります。このため開発行為や建築行為の際には、法令上必要な部分と、市道改良等が計画されている場合は、その整合を図るように努めています。しかし、整備方法の一元化は難しさがあります。	開発指導課・建築指導課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成22年8月20日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
6	震生湖を観光資源としてうまく活かして欲しい。	要望として受け止めます。	<p>震生湖を観光資源として活用するため、平成10年度から13年度にかけて、震生湖周辺整備計画の策定に向けて取り組みましたが、経済情勢等を考慮して計画を留保した経過があります。</p> <p>その後、当時の経過も踏まえ、平成20年度に震生湖周辺整備計画の策定に向けコンサルティング計画を結び、今年度庁内各部との調整を重ねて素案のとりまとめを行っており、年度末の策定を目指しています。</p>	観光課
7	障害を持った児童のためにもっと人員を増やすことはできないか。現在は人手が足りていないようであるし、教師もそれを言い訳にしている。	<p>実際、人手は不足しているが、それを言い訳にしないようにしっかりやっていくようにしなければならぬ。園長・校長会でも話していきたい。</p>	<p>小・中学校の特別支援学級に、児童・生徒の学習活動や日常生活を支援する介助員を配置しています。</p> <p>また、通常級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童・生徒に対して適切な指導及び支援を行う教育指導助手派遣事業を行っています。</p> <p>今後も市として継続する中で事業内容の充実に努めていくとともに、特別支援学級の教職員配置及び加配措置については県教育委員会に、増員を要望していきたいと考えております。</p> <p>また、与えられた教育環境の中で、最善を尽くすことが教職員に求められるのであり、ご指摘のような言い訳をすることのないよう指導をしていこうと考えております。</p>	教育指導課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成22年8月20日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
8	<p>タウンニュースに市民が議員になって議会活動に参加できるとか、日本一働く議会というような記事があった。具体的にどうということか。</p>	<p>現在市議会において、議会活性化特別委員会を設置し、市民に開かれた議会改革を検討している。議会活性化を目指した取り組みの中で市民が議会に入って参加できるような構想がある。これをそのような表現でタウン紙が記事にしたと思われる。</p>	<p>タウンニュース紙が記事にした、市議会が策定中の秦野市議会基本条例の素案は「すべての市民が議会に議員として活動できる機会が得られるよう、環境の整備に取り組む。」との記述がありますが、議員を志す市民が誰でも挑戦し、議員として活動するための機会が等しくもてるよう努めるということです。 また、議員の職務を明確にし、1年間市民のために働く議会、すべての会議や情報・資料を公開するなど、議会、市長、市民との関係を明らかにし、議会の目指すべき道を示し、市民の負託に応えるということです。</p>	<p>議会事務局</p>
9	<p>交通マナーが悪い人が多い。ながら運転やスピード違反。罰則を厳しくする等、市から啓発を進めるべきではないか。</p>	<p>市も啓発するが、みなさんもしっかり守ってほしい。</p>	<p>引き続き交通ルールの遵守、マナー向上のため、警察や関係団体と連携した交通安全の啓発活動を展開するとともに、幼児、生徒や自治会等の方も含めた交通安全教育に努めます。</p>	<p>くらし安全課</p>
10	<p>市役所の各課の窓口をもっと平日遅い時間までとか土日とかにも開けて欲しい。仕事がある社会人が利用できるよになると大変助かる。</p>	<p>方向性としては分かります。どのくらいのニーズがあるかを考えて検討したい。現在少しずつではあるが、連絡所等で利便性を高めている。</p>	<p>土曜開庁、駅連絡所では平日時間延長を実施しており、市民ニーズ等を踏まえながら、利便性向上に努めていきます。</p>	<p>行政経営課・戸籍住民課</p>